

satinique™

•• Scalp & Hair Dryer ••

ドライヤーの
展開・操作方法



髪の毛の乾かし方・
ブローの方法



製品名：サテニーク™ スカルプ&ヘア ドライヤー

取扱説明書



ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき、正しい使用方法をご理解ください。また、使用する前は必ず「安全上のご注意」をお読みください。お読みになった後も、大切に保管してください。

目次

安全上のご注意.....	3
付属品・各部名称.....	8
使い方.....	10
ドライヤーを使用する前に.....	14
ドライヤーの使い方.....	15
お手入れ.....	18
こんなときは.....	21
製品仕様.....	23
無償修理規定.....	24

安全上のご注意

この製品は、髪の毛の乾燥とヘアスタイリングを目的としています。その他の用途では使用しないでください。

以下の注意事項をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。

本書では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うおそれがある内容です。



誤った取り扱いをすると、軽傷または中程度のけがを負う、または財産への損害のおそれがある内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



してはいけない禁止の行為です。



必ず実行していただく強制の行為です。

いずれも、安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

警告

電源について

	● 定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。 ● 必ず交流 100V で使用する。(日本国内専用) 火災・感電・やけどの原因になります。 ● 使用後は電源スイッチを OFF にして必ず電源プラグを抜く。 けが・感電・漏電・火災・発火の原因となります。
	● コンセントから電源プラグを抜くときは電源プラグを持つ。 電源コードを引っ張ると断線により故障・感電の危険があります。 ● 電源プラグはコンセントに根元まで挿し込む。 発火・感電の危険があります。 ● お手入れするときは電源スイッチを OFF にして電源プラグを抜く。 けがの原因になります。
	● 電源コードを切断・改造・加工しない。 発火・感電の危険があります。 ● 改造・分解はしない。技術者以外は修理をしない。 感電・けがの危険があります。故障の場合は修理をご依頼ください。
	● 電源コードが破損している場合、危害を回避するため、テクニカル・ホットラインにご相談ください。 発火・感電の危険があります。 ● 延長コード・コンセントタップを使用しない。 異常な発熱・発火・感電の危険があります。 ● 電源コードを束ねたまま・ねじれたまま使用しない。 異常な発熱・故障・感電の危険があります。

水濡れについて

	● 本体を水につけたり、水をかけたりしない。 ショートや感電の原因になります。
	● 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。 感電の危険があります。 ● 濡れた手でドライヤーを操作しない。 感電の危険があります。

水濡れについて



- 油や化粧水などが付着するなど手が滑りやすい状態で使用しない。
使用中の落下・感電・火災の危険があります。油や化粧水が手に
ついた場合は、使用前に洗い流し、水分を拭き取ってください。
- 高温多湿な場所または水や液体がかかりやすい場所に置かない。
故障・感電の危険があります。

使用・保管について



- 異常を感じたら使用を中止する。
使用中、異常な発熱・異音・異常な動作があったり、本体や電源コード、
電源プラグの破損を見つけたら使用を中止し、テクニカル・ホット
ラインまでご連絡ください。



- この製品は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、
補助を必要とする人やお子様だけで使用させない。
感電・けがの危険があります。
- 本体・セットノズル・化粧箱・梱包材・イオンユニット掃除ブラシ・
電源プラグキャップ等は、お子様の手の届く場所に保管しない。
けが・誤飲による窒息などの恐れがあります。
- 乳幼児には使用しない。
けが・やけどの危険があります。
- 業務用として使わない。また不特定多数の人が使う場所に置かない。
連続使用での過負荷による故障の原因になります。
- 吸気口や送風口をふさいだり、ヘアピンなどの異物を入れない。
火災・感電・やけど・けが・故障の原因になります。
- 引火の危険のある場所で使用しない。
火災・爆発の危険があります。可燃性スプレーをかけたり、ガソ
リン・灯油・ガスなど、引火の危険のあるもののそばで使用しな
いでください。
- 電源スイッチを ON にしたままの状態や、電源プラグをコンセ
ントに挿し込んだままの状態で放置しない。
火災の原因になります。

注意

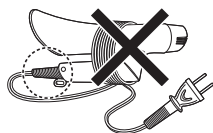
使用・保管について



- 使用する前に本体や付属品に破損や異常がないか確認する。
破損や異常があった場合はそのまま使用せず、テクニカル・ホットラインまでご連絡ください。
- 使用する前に周囲に吹き飛ばされやすいものがないかどうか確認する。
物品の紛失・破損の原因になります。
- ドライヤーの展開・収納時に指を挟まないよう注意する。
けがの原因になります。
- 本体吸気口、電源プラグなどのお手入れを定期的に行う。
吸気口にほこりなどが付着したまま使用すると、故障・異常な発熱の原因になりますので、お手入れを行ってください（18 ページ参照）。また、電源プラグにほこりが付着したままコンセントに挿し込むと、火災の原因になります。柔らかい乾いた布などでほこりを拭き取ってください。



- 人の髪の乾燥・整髪のみを使用し、ペットや衣類、靴・ブーツ、かつら等に使用しない。
やけどや火災・故障の原因になります。
- 髪や皮膚に近づけすぎない。
送風口は髪から 5cm 以上離して使用してください。やけど・高熱により髪を傷める原因になります。また、吸気口からは 15cm 以上離して使用してください。髪が巻き込まれる危険があります。
- 本体や電源コードに強い力をかけたり、衝撃を与えたり、重いものをのせない。
故障・断線の原因になります。
- 収納時、電源コードを本体に巻き付けない。
コードに負荷がかかり、断線の原因になります。



使用・保管について

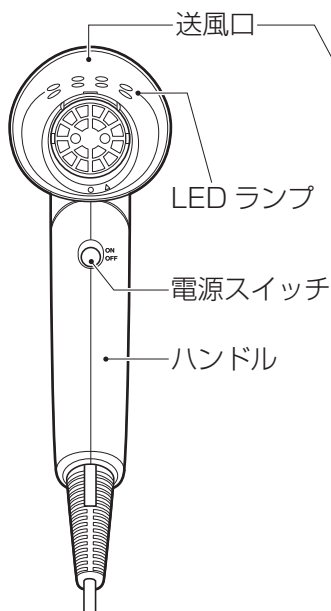


- 本体のお手入れにアルコールや溶剤などを使用しない。
故障の原因になります。
- 使用中、送風口や吸気口をのぞきこまない。
けが・やけどの原因になります。
- 使用中にセットノズルや送風口に触らない。
使用中は高温になります。やけどの危険があります。
- 使用中は、本体を激しく動かさない。
故障の原因になります。また、頭部や周囲の物や人に当たるとけがの危険があります。
- 同じ箇所に長時間使用し続けない。
やけどや髪、頭皮を傷める原因になります。
- 電源コードの根元に強い力を加えたり、無理に折り曲げない。
コードが断線、または本体が故障する恐れがあります。
- 落したり、ぶつけたりしない。
感電・発火・けが・故障の原因になります。

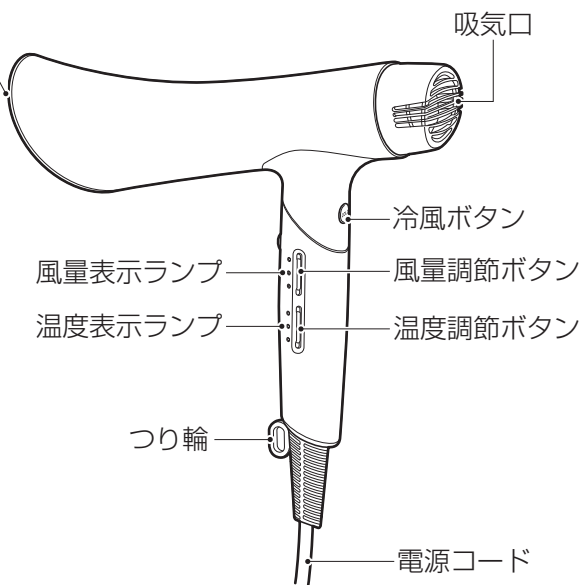
付属品・各部名称

● 本体 × 1 台

【正面】



【側面】



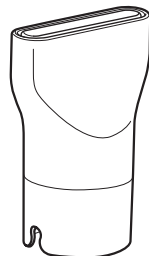
● スポンジフィルター × 1 枚

吸気口用のフィルターです。
吸気口内に取り付け済みです。



● セットノズル × 1 個

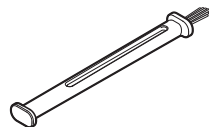
髪をセットする際に使用します。



● 取扱説明書 × 1 冊



● イオンユニット掃除ブラシ × 1 個

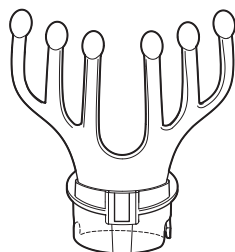


● 予備用 スポンジフィルター × 1 枚
吸気口用のフィルターです。
予備としてご使用ください。



スカルプ用かっさ（別売）

スカルプケア用です。
発注番号：4131

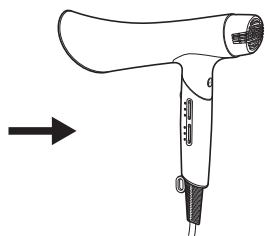
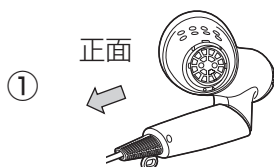


不足・破損している場合はテクニカル・ホットライン（0120-950-987）までご連絡ください。

使い方

1 ドライヤーを 展開します

- ①送風口が正面に向くように持ちます。
- ②ハンドルを図のようにひねり、ハンドルが動かなくなる（ロック状態）まで回します。



ロック状態
(展開した状態)



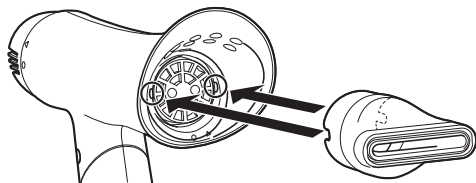
ドライヤーを開くときは、可動範囲内でゆっくりと動かしてください。無理な力がかかると、本体の破損の原因となります。



折り畳んだまま使用しないでください。

付属のセットノズルについて

風のアたる範囲をしぼることができ、髪をセットするときの使用に適しています。セットノズルを使用するときは、送風口内部にある左右の横軸にセットノズルの左右の溝を合わせ、まっすぐ差し込んでください。



セットノズルを取り付ける際は、髪や異物が挟まったり、巻き込まれたりしないようご注意ください。



使用後のセットノズルは高温になっているため、手を触れないでください。温度が下がってからセットノズルを外してください。

2 壁面コンセントに 電源プラグを根元まで 挿し込みます



延長コード・コンセントタップは使用しないでください。

15A以上の
家庭用AC100Vの
コンセントに接続

根元まで
しっかり
挿し込む



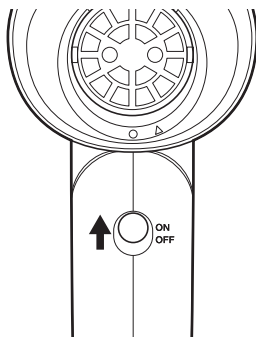
※日本国内専用

3 電源スイッチを ON に します

送風口の LED ランプが赤く点灯し、
中温・強風で運転を開始します。



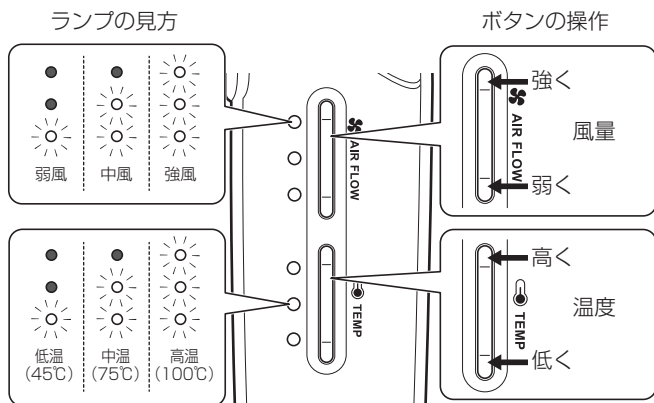
電源コードを束ねたまま・
ねじれたまま使用しないで
ください。



4 風量・温度を調節します

風量・温度はそれぞれ3段階で調節できます。ボタンの上側／下側を押して調節してください。

※運転中に、マイナスイオン・プラスイオンが自動で発生します。これらのイオンは、静電気を軽減させる効果があります。



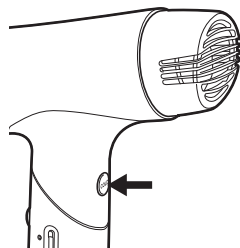
※ ● : 消灯、☀ : 点灯

乾かし方について詳しくは、15 ページをご参照ください。

5 冷風を使用したいときは

冷風ボタンを押すと一時的に冷風に変わります。温風に戻したいときは、再度冷風ボタンを押してください。

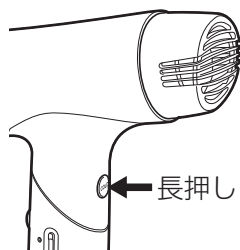
※冷風の使用時は、温度表示ランプが青く点灯します。



6 LED ランプを ON / OFF したいときは

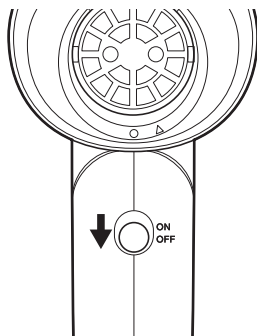
冷風ボタンを長押しすると、送風口の LED ランプが消灯します。

再度長押しするか、電源スイッチを OFF / ON すると、再度点灯します。



7 電源スイッチを OFF にします

※本体を冷却するため、電源スイッチを OFF にしたあと、完全停止するまで 2 ～ 3 秒かかります。



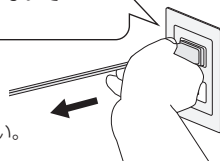
8 壁面コンセントから電源プラグを外します



使用後は必ず、電源を OFF にし、電源プラグを外してください。

必ず電源プラグを持って抜く。コードを引っ張らないでください。

※電源プラグが熱い場合があります。ご注意ください。

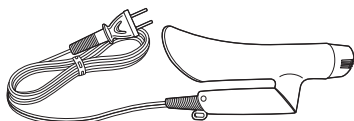
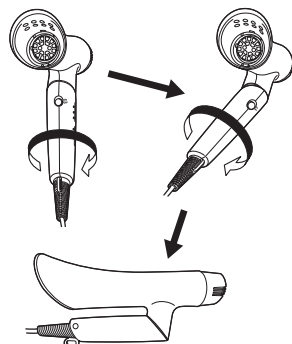


9 収納します

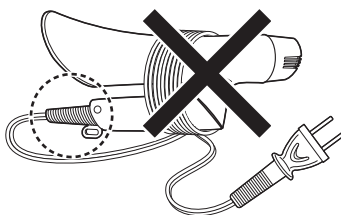
送風口を正面にして、ハンドルを向かって右方向にひねります。コードは付属のコードバンドでゆるく束ねてください。



本体の温度が下がってから収納してください。



- 電源コードを本体に巻き付けしないでください。断線の原因になります。
- 電源コードの付け根（点線で囲んだ箇所）には特に力が加わらないよう注意してください。



ドライヤーを使用する前に

髪が濡れているとき



髪に水分が多いままだと、乾かすのに時間がかかります。

洗髪したあとは、タオルなどを髪の根元から当てるように押さえ、余分な水分を取り除いてください。

※濡れている髪のキューティクルは開いた状態です。髪の中から毛先にかけては、やさしくタオルで包むように押さえて拭き取りましょう。

乾いた髪をセットするとき



乾いた髪は、少し湿らせることでセットしやすくなります。

蒸しタオルや水、ミスト、セットローションなどを使用し、髪をやや湿らせましょう。

セットする前に



セットする前に髪をブラッシングし、抜け毛などを取り除きましょう。

髪の通りが良くなり、セットしやすくなります。

ドライヤーの使い方

髪とドライヤーの送風口は 5cm 以上の距離をあけてください。
同じ場所に温風をあて続けしないでください。



高温での使用時は、送風口を髪や頭皮から 5cm 以上離してください。
やけどや髪が焦げてしまう恐れがあります。
また、吸気口側も髪から 15cm 以上離してください。髪が巻き込まれる恐れがあります。

髪と頭皮をやさしく乾かす



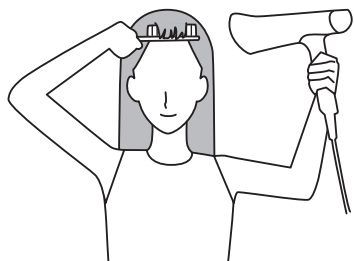
手ぐしで髪をかき上げながら、頭皮（地肌）から髪をやさしく乾かします。

※電源を ON にすると、風量は「強風」、温度は「中温」で運転を開始します。

ポイント

- 送風口の LED ランプの光を頭皮に当てるようにして乾かす
- 髪の襟足から乾かし始める

髪をセットしたいとき



セットしたい部分の髪を水などで湿らせます。
ブラシを使いながら温風をあててセットしましょう。

セットノズルを使用すると、髪を整えやすくなります。

※やけどに注意してください。

ポイント

- 風量を「中風」または「弱風」に設定する
- 最後に冷風に切り替えて髪にあてる

髪をボリュームアップしたいとき

トップの場合



髪の手元を持ち上げ、下から上に向けて温風をあてます。

※やけどに注意してください。

ポイント

- 風量を「中風」または「弱風」に設定する
- やや熱が冷めたら、持ち上げた髪を下ろす

髪の内側の場合



髪をボリュームダウンしたいとき



ボリュームを抑えたい部分に上から温風をあてます。髪を流したい方向に手ぐしを通して乾かしましょう。

セットノズルやブラシを使用すると、よりまとまりやすくなります。

※やけどに注意してください。

ポイント

- 風量を「中風」または「弱風」に設定する
- やや熱が冷めるまで、髪を抑えたままにする

スカルプ用かっさを使用したいとき



スカルプ用かっさの使い方については、以下をご参照ください。



お手入れ



お手入れの前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く



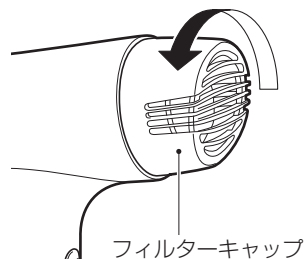
本体の熱が十分に冷めてからお手入れをする

吸気口のフィルターにほこりがたまり、ドライヤー本体が異常に発熱すると、安全機能により自動停止します。1～2週間に1度は吸気口のフィルターのほこりを取り除いてください。

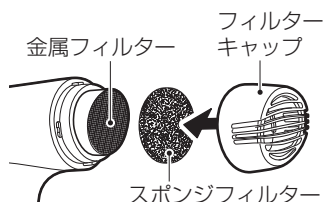
- 本体外側や電源プラグの汚れ・ほこりは柔らかい乾いた布で拭き取ってください。水に濡らしたり、アルコールや洗剤、溶剤などは使用しないでください。

吸気口のお手入れ(1～2週間に1度行ってください)

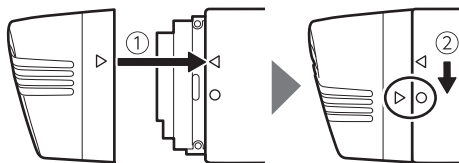
1. 吸気口のフィルターキャップを反時計回りに回して外します。



2. フィルターキャップからスポンジフィルターを取り出します。



- 3.** フィルターキャップの表面についたほこりを乾いた布や歯ブラシなどで取り除きます。
※フィルターキャップは水洗いができます。水洗いした場合は、完全に乾かしてから再度装着してください。
- 4.** スポンジフィルター表面についたほこりを取り除きます。
※スポンジフィルターが破損した場合は、予備のフィルターに交換してください。スポンジフィルターは水洗いができます。水洗いした場合は、風通しの良い場所で陰干しして、完全に乾かしてから再度装着してください。
- 5.** 金属フィルター表面についたほこりを乾いた布や歯ブラシなどで取り除きます。
- 6.** スポンジフィルターをフィルターキャップに取り付けます。
- 7.** フィルターキャップと本体の△マークを合わせ(①)、フィルターキャップを本体の○の方向に回転させて(②)取り付けます。

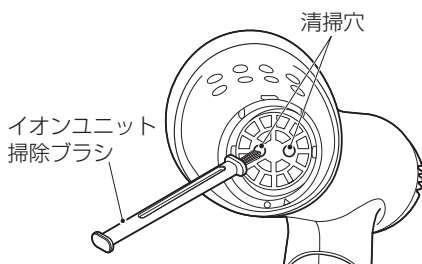


- 金属フィルターをお手入れするときは、アルコールや洗剤、溶剤などは使用しないでください。
- 付属のイオンユニット掃除ブラシは、金属フィルターの清掃に使用しないでください。
- 送風口や金属フィルターにこびりついた汚れがある場合でも、針金などで無理に除去しようとししないでください。感電・故障の原因になりますので、使用を中止しテクニカル・ホットラインにお問い合わせください。
- スポンジフィルターを濡れたままセットして使用しないでください。
- スポンジフィルターとフィルターキャップがセットされていない状態で使用しないでください。

イオンユニットのお手入れ

1. 清掃穴（2カ所）にイオンユニット掃除ブラシを差し込み、3周ほど円を描くように回し、イオンユニット（2カ所）の汚れを取り除きます。

※イオンユニットに汚れが付着するとイオンが出にくくなるため、1カ月に1回を目安に行ってください。



- 清掃は、付属のイオンユニット掃除ブラシ以外は使用しないでください。他のものを使用すると、故障の原因になります。
- イオンユニット掃除ブラシは濡れた状態で使用しないでください。
- イオンユニットは、清掃穴以外から清掃しないでください。
- 万が一、イオンユニットの針が折れた場合は、製品の使用を中止し、テクニカル・ホットラインにお問い合わせください。

こんなときは

こんなとき	お調べください
風が冷たい／温度が高くない	● 冷風ボタンを押したことにより、冷風モードになっている可能性があります。
勝手に運転が止まる	● 本製品の安全機能により停止した可能性があります。温度表示ランプが赤で点滅している場合、吸気口がふさがれたため、安全機能により運転が停止します。吸気口などにほこりが付着していると本体の異常な発熱の原因になります。お手入れを行ってください（18 ページ参照）。 ● コンセントから電源プラグを抜き、ドライヤーの温度が下がってから再度電源プラグを挿し込んで使用を再開してください。 ● 30 分以上連続運転した場合、自動停止します。 ● 運転が停止した場合はコンセントから電源プラグを抜き、10 秒以上経過してから再度運転を試みてください。
火花が出る	● 送風口や吸気口から火花が見える場合、ほこりが原因になっていることがあります。お手入れを行ってください（18 ページ参照）。 ● 電源コードから火花が出る場合は断線している可能性があります。テクニカル・ホットラインまでご連絡ください。 ● 電源プラグから火花が出る場合は、ほこりや汚れが付着しているか、確実に挿し込まれていない可能性があります。電源プラグを確認し、清掃を行ってください。

上記の方法で解決しない場合、テクニカル・ホットラインまでご連絡ください。

下記の場合、ただちに使用を中止し、テクニカル・ホットラインにご相談ください。

- 電源プラグが異常に熱い
- 本体・温風が異常に熱い
- 電源コードが異常に熱い
- 電源コードを折り曲げたり回転させると通電したり、しなかったりする
- 送風口の中が赤く見える
- 本体が部分的に変形している
- 異常な音、振動、コゲ臭いにおいがする
- 風が出ない、または出たり出なかったりする
- 温度表示ランプが緑や青に点滅する

製品仕様

製品型番	324002J
電源	AC100V 50/60Hz（日本国内専用）
消費電力	1200W（風量・風温最大時）
その他安全機能	自動停止：連続運転約 30 分／吸気口がふさがれた場合など サーミスタ・サーモスタット・温度ヒューズ
本体サイズ	約 244mm（幅）× 74mm（奥行）× 219mm（高さ）（コード含まず）
	※折り畳み時約 244mm（幅）× 74mm（奥行）× 120mm（高さ）
電源コード長さ	約 2.2m
重量	約 370g（コード含まず）

無償修理規定

保証について

記載内容に従って無償修理させていただくことをお約束するものです（セットノズル、スポンジフィルター、イオンユニット掃除ブラシ、スカルプ用かっさ（別売）は対象外です）。保証期間は、お買い上げの日から 1 年間です。

- 取扱説明書の注意に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には無償修理します。
- 保証期間内に故障が発生して無償修理を受ける場合には、テクニカル・ホットライン（0120-950-987）にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - ・ 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障 / 損傷。
 - ・ お買い上げ後に落とされた場合、水没した場合などによる故障 / 損傷。
 - ・ 火災 / 公害 / 異常電圧および地震 / 雷 / 風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障 / 損傷。
 - ・ 一般家庭用以外（例えば業務用 / 店舗等での使用、事務所 / 研究所での使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障 / 損傷。
 - ・ 海外での使用に伴う不具合。
 - ・ ご使用後のお手入れを怠ったことによる故障 / 損傷。
 - ・ 日本アムウェイ合同会社または ABO（アムウェイビジネスオーナー）から直接購入されていない場合。

保証は、日本国内においてのみ有効です。

ご不満による返品および交換について

本製品に万一何らかのご不満が生じた場合は、「100% 現金返済保証制度」にそって製品を返品することができます。この制度は、「特定商取引に関する法律」に定める「クーリング・オフ」の制度を、さらに前進・徹底させた日本アムウェイ独自のルールで、ABO（アムウェイビジネスオーナー）の場合は、一定条件のもとで、起算日^{*1}から1年以内を期限として、本製品を返品することができ、製品代金は全額返金されます。ただし、製品または納品書もしくはお客様による販売伝票の受領日のうち最も遅い日から30日を超えた使用済みの場合には返品することができません。

プライムカスタマーの場合は、納品書兼返金・返品依頼書に表示されている受注日の翌日から45日以内は、使用・未使用にかかわらず返品することができます。なお、製品ご購入時にお支払いいただいた送料・手数料などの製品代金以外の費用は、返金の対象とはなりません。製造上の不良が発見された場合は、同一製品と交換することができます。

返品・交換に関するその他の条件・ご注意・手続き方法に関する詳細は、お手元のアムウェイ カタログや amwaylive.com をご参照ください。お客様におかれましては、お知り合いの ABO（アムウェイビジネスオーナー）にご確認ください。

^{*1} 起算日とは、「納品書兼返金・返品依頼書」もしくはデジタル納品書に表示されている受注日またはお客様による販売伝票の受領日のうち最も遅い日を指します。

お客様ご相談窓口

*機器や消耗品についてご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください。



日本アムウェイ合同会社

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町7-1

テクニカル・ホットライン 0120-950-987

(受付時間 月～土/9:00～17:00 日・祝日はサービス休止)

携帯電話からはこちらへ 0570-064-632 (有料)

www.amway.co.jp

- 使い方がわからない
- 部品が破損し、部品を取り替えたい
- 本機器が動かない
- 本機器を修理したい 等

240712

MADE IN CHINA